

区分	用語	解説
か 行	家電リサイクル法	「特定家庭用機器再商品化法」の略称。 家電製品のリサイクルを促進することを目的とし、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の4品目について消費者、販売店、製造業者に対して以下の義務を課している。 ・消費者：再商品化などに係る費用の負担（運搬費、リサイクル料） ・販売店：消費者からの引取り及び製造業者等への引渡し ・製造業者：再商品化
	環境経営	環境問題に取り組み、環境への負荷を低減させることで企業の社会的責任を果たす経営を指す。
	環境認証	組織の環境に対する取組が一定のレベルに達しているかどうかを判断するため、取組を第三者の目で評価し一定の保証を与えるもので、世界共通の環境マネジメントシステム規格である「ISO14001」の他に、交通エコロジー・モビリティ財団のグリーン経営認証などがある。 ISO14001→参照
	環境配慮設計	DfE: Design for Environment。分解が容易である、リサイクルしやすいよう単一素材を使用するなど製品等の設計段階において環境配慮を行うための手法のこと。環境適合設計ともいう。
	環境マネジメントシステム(EMS)	組織の経営者が自ら環境に関する方針を決定し、構成員に周知徹底するとともに、その方針に沿った目標を立て、計画を作成し、実行のための体制や手続き、マニュアル類を整備するほか、取組の実行状況を監査し、方針の見直しを行うことなどによって、環境保全の取組を推進していく仕組み。 ISO14001→参照
	キッズISO14000プログラム	環境をテーマにした子どもの教育プログラム。このプログラムは、NPO 法人国際芸術技術協力機構 (Artech) が開発し、国内では環境省、経済産業省、文部科学省、国際的には国際連合大学 (UNU)、国際連合環境計画 (UNEP) 等の後援を受けており、日本国内では既に20万人弱の子どもたちが実施している。
	QC活動	それぞれの職場において、品質を適正に管理する活動のこと。QCは、Quality Control (品質管理) の略。個々の職場を単位とする小集団による品質改善の自主的活動であり、仕事内容から離れた活動ではなく、仕事をしながら具体的問題の改善に取り組む、といった特徴を持つものであるとされている。
	グリーン購入	市場に供給される製品・サービスの中から環境への負荷が少ないものを優先的に購入すること。
	ケミカルリサイクル	廃棄物を回収し化学的に処理して、ガス・油・化学原料(モノマー)として再生利用すること。 再生利用→参照
	構造改革特区制度	地方公共団体等の自発的な立案により、地域の特性に応じた規制の特例を導入する特定の区域を設けることで、経済社会の構造改革の推進及び地域の活性化をはかる制度。
	合理化抛出金	容器包装廃棄物の再商品化の効率化がなされた場合に市町村に支払われるお金のことで、「再商品化合理化抛出金」の略。容器包装リサイクル法に基づき住民・市町村と特定事業者が連携して、リサイクルの効率化や社会的コストの低減をはかろうという目的で導入された制度。
コミュニティ	地域社会。地域性と共同意識とによって成立する社会。	
コンポスト	家庭から出るごみやし尿、家畜の糞尿などを原料にして発酵させた有機肥料。堆肥の代わりに使われる。	

区分	用語	解説
さ 行	再生可能資源物	有価で取引されているか否かを問わず、製品の原材料や燃料など資源として再利用することが可能なもの。
	再生利用	マテリアルリサイクル。廃棄物等を原材料として再利用すること。例えば、びんを砕いてカレットにしたうえで再度びんを製造する、アルミ缶を溶かしてアルミ缶やその他のアルミ製品を製造することなどが再生利用にあたる。効率的な再生利用のためには、同じ材質のものを大量に集める必要があり、特に自動車や家電製品といった多数の部品からなる複雑な製品では、材質の均一化や材質表示などの工夫が求められる。なお、マテリアルリサイクルのうち、廃棄物等を化学的に処理して、原材料にすることを特にケミカルリサイクルという場合がある(例:ペットボトルを化学分解して再度ペットボトルにする等)。 ケミカルリサイクル→参照
	里山	奥山自然地域と都市地域の間位置し、さまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域であり、集落を取り巻く二次林と人工林などで構成される地域概念。
	サービサイジング	「機能をモノとして販売する」のではなく、「機能そのものを販売する」サービス。具体的には、「製品のレンタル・リース」などのサービスを指す。
	サーマルリサイクル	熱回収。 熱回収→参照
	CSR	Corporate Social Responsibilityの略。企業の社会的責任。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、ステークホルダー全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方。
	GPS	Global Positioning Systemの略。 全地球無線測位システム。24個の衛星から発射した時刻信号の電波の到達時間などから、地球上の電波受信者の位置を三次元測位する。カーナビゲーションシステムなどに利用されている。
	シュリンク包装	荷物を専用のビニールフィルムで覆い、加熱収縮させて荷物を強く固定保持する包装方法。
	循環型社会	天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会。
	循環資源	循環型社会基本法で定義されたものであり、廃棄物等のうち有用なものを指す。
	焼却灰・飛灰のセメント原料化	焼却施設等から発生した焼却灰・飛灰をセメント製造業者でセメントの原料として資源化すること。
	食育	さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。一人ひとりが、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等がはかれるよう、自らの食について考える習慣や食に関するさまざまな知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組を指す。
	食品リサイクル法	「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」の略称。 食品に係る資源の有効な利用の確保及び食品に係る廃棄物の発生の抑制をはかること等を目的としている。
	森林等の公益的機能	人類に利益となる森林等に由来する機能(水源涵養、土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収・貯蔵など)のこと。

区分	用語	解説
	ステークホルダー	利害関係者。
	3R	環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワード。発生抑制(Reduce リデュース 廃棄物の発生抑制)、再使用(Reuse リユース)、再生利用(Recycle リサイクル)のこと。 リデュース、リユース、リサイクル→参照
	生分解性プラスチック	微生物によって生産されるポリヒドロキシ酪酸系や合成のポリエステル系のプラスチックなど。地中や水中で微生物などにより分解される。
	ゼロエミッション	ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすること。
	その他紙製容器包装	容器包装リサイクル法の対象となる容器包装のうち、主として紙製のもの。ただし、段ボール製のもの及び飲料用紙パック(アルミニウムを使っていないもの)は除かれる。
	その他プラスチック製容器包装	容器包装リサイクル法の対象となる容器包装のうち、主としてプラスチック製のもの。ただし、ペットボトルは除かれる。
た 行	単純従量制	排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式。単位ごみ量あたりの料金水準は、排出量にかかわらず一定である。
	地域通貨	限定地域や共同体だけで利用可能である通貨やそのシステムの総称。
	地産地消	地元でとれた生産物を地元で消費すること。
	地方環境税	地方自治体が課税する環境税。環境税とは、環境によくない行動や、環境汚染のもとになる製品に税金をかける仕組み。税がかかると、対策が促されるほか、環境を汚す程度の高い商品は結果として高い買い物となるので、環境の使用や環境を汚すことが少なくなると期待される。
	中間処理	収集したごみの焼却、下水汚泥の脱水、不燃ごみの破碎、選別などにより、できるだけごみの体積と重量を減らし、最終処分場に埋立て後も環境に悪影響を与えないように処理すること。さらに、鉄やアルミ、ガラスなど再資源として利用できるものを選別回収し、有効利用する役割もある。
	2R	3Rのうち、特に2R(「リデュース(発生抑制)」、「リユース(再使用)」)等を指向した取組など。 3R→参照
	デポジット制度	預託払戻制度。製品本来の価格にデポジット(預託金)を上乗せして販売し、使用後の製品が所定の場所に戻された際に預託金を返却することにより、消費者からの当該製品の回収を促進しようとするもの。我が国では、離島、公園内やスタジアムなど一定のまとまりのある区域内での導入例があるほか、諸外国では、全国的な導入例もある。
	ドギーバッグ	「繰り返し使用できる」、「折り畳み等コンパクトに携帯できる」食料を持ち運ぶ容器。
トレードオフ	一方を追求すれば他方を犠牲にせざるを得ないという二律背反の関係。例えば、失業率を低めようとするれば物価の上昇圧力が強まり、物価を安定させようとするれば失業率が高まるという物価安定と完全雇用の間の関係。	

区分	用語	解説
な 行	熱回収	廃棄物から熱エネルギーを回収すること。ごみの焼却から得られる熱は、ごみ発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用されている。
	ノーマライゼーション	障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会をめざす考え方や取組。
は 行	バイオガス	生物反応(微生物発酵や酵素などの利用)によって生成する燃料用ガスの総称。メタン・水素など。
	バイオマスエネルギー	サトウキビやサツマイモのアルコール発酵によって得られるエチルアルコール、海草や糞尿のメタン発酵によって得られるメタンなど、生物体(バイオマス)によるエネルギー。また、そのエネルギーを利用することをいう。
	廃棄物会計	自治体が行うごみ処理やリサイクル事業を主に経費の面からとらえ、住民等とともに共有、点検することにより、ごみ問題の解決に役立てていくためのツール。ごみ処理費用の総額だけでなく、個々の品目ごとの収集・資源化費用の内訳などのコスト情報とともに、ごみの量や収集運搬体制、資源化・処分の方法、資源化率なども含む、ごみに関するさまざまな情報を統合したもの。
	廃棄物処理センター	特別の管理を要する廃棄物や市町村では処理が困難な廃棄物等の適正かつ広域的な処理を行うため、廃棄物処理法により環境大臣が指定する法人等のこと。
	パイロット事業	先行して試験的に行う事業のこと。
	パブリックコメント	行政における意思形成過程で、県民から広く意見を募集し、提出された意見を行政に反映する手続き。
	ビジョン	将来の見通し。未来像。
	BDF	Bio Diesel Fuelの略。 食用として使用済みの植物油・動物油を精製して作るディーゼル燃料。軽油を用いる通常のディーゼルエンジンに、改造なしで流用可能。硫黄酸化物・浮遊粒子状物質などの排出が少なく、生物分解されやすいなど、環境への負担が少ないといわれる。バイオディーゼル油。
	PDCAサイクル	PlanのP、DoのD、CheckのC、ActのAを組み合わせた言葉で、①計画の作成(Plan)、②その実施(Do)、③点検・評価(Check)、④改善(Act)というサイクルを繰り返すことにより、目標達成を行おうとする方法。
	ヒートポンプ	空気中の熱を利用して、冷房や暖房などにエネルギーを有効活用する仕組み。
	フェアトレード	公平な条件下で国際貿易を行うこと、または考え方。
	ベストプラクティス	優れた(ベストな)業務手法のこと。若しくは、優れた業務手法に学び、取り入れる改革手法のこと。
	ベンチマーキング	企業革新のため、最高水準の業績を上げている企業を選び、ベストプラクティス(最良の手法)を目標にすること。
マスタープラン	基本的な方針として位置づけられる計画。総合計画など。	
マテリアルリサイクル	再生利用。 再生利用→参照	

区分	用語	解説
ま 行	マニフェスト	産業廃棄物の運搬・処理処分に関して、産業処理の過程を把握することができるように交付する産業廃棄物管理票のこと。
	ミックスペーパー	メモ用紙、シュレッダーくず、封筒・窓付き封筒、ノンカーボン用紙、ハガキ、タバコの空き箱、手さげ袋、手帳、カレンダー、名刺、写真、感熱紙、カーボン紙、領収書、レシート、ノート、折り紙、半紙、わら半紙、チケット、貯金通帳、のし袋、画用紙、包装紙、紙コップ、紙パックなど、いろいろな種類の紙が混ざった紙ごみのこと。従来はリサイクルされにくかったが、環境保全活動の高まりや技術等の進展により、再生資源としての利用が増えている。
や 行	有機性ごみ	有機体すなわち生物(動植物体)に由来するごみ。
	容器to容器率	容器が廃棄された後、それが再度同じ容器の原材料として利用される割合。
	容器包装リサイクル法	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」の略称で、一般廃棄物の大部分を占める容器包装廃棄物をリサイクルすることを目的とし、消費者、行政、事業者に対して以下の義務を課している。 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者:市町村が行う分別収集への積極的協力 ・行政:消費者が分別したものの分別収集と、事業者への引渡し ・事業者:引き取った容器包装廃棄物の再商品化
	熔融スラグ	焼却灰等の廃棄物を超高温(1,200℃以上)下で加熱、燃焼させ熔融した後に冷却し生成されたガラス質の固化物。
ら 行	ライフサイクル	原材料採取から製造、流通、使用、廃棄に至るまでの製品等の一生涯。
	リサイクル	廃棄物等を再利用すること。原材料として再利用するマテリアルリサイクル(再生利用)、焼却して熱エネルギーを回収するサーマルリサイクル(熱回収)がある。 マテリアルリサイクル、再生利用、サーマルリサイクル、熱回収→参照
	リターナブル	(紙容器・びんなどが)リサイクルのために返却・回収ができること。
	リデュース	廃棄物の発生抑制。ごみを出す量を極力少なくすること。
	リユース	再使用。いったん使用された製品や部品、容器等を再使用すること。具体的には、(1)あるユーザーから回収された使用済み機器等をそのまま、もしくは修理などを施したうえで再び別のユーザーが利用する「製品リユース」、(2)製品を提供するための容器等を繰り返し使用する「リターナブル」、(3)ユーザーから回収された機器などから再使用可能な部品を選別し、そのまま、もしくは修理等を施した上で再度使用する「部品リユース」などがある。 リターナブル→参照
	ローカルデポジット	公園内やスタジアムなど一定のまとまりのある区域内で行うデポジット。デポジット制度→参照
わ 行	ワークショップ	学びや創造、問題解決やトレーニングの手法。参加者が自発的に作業や発言を行える環境が整った場において、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される形態が一般的。
	ワンウェイ	(びんや紙パックなどの容器で)リサイクルのための回収・再利用などが行われない物流、又は、製品使用の方式。 リサイクル→参照